



2016年度 第2四半期決算説明会

2016年11月28日

株式会社 A D E K A

証券コード 4 4 0 1



2016年度 第2四半期決算説明

〔2016年4月～2016年9月〕

代表取締役社長 郡 昭夫

目次

1. 2016年度上期 連結業績
2. 2016年度上期 トピックス
3. 2016年度 連結業績予想と事業施策
4. ご参考
 - ・ 2016年標語
 - ・ 海外売上高

1. 2016年度上期 連結業績

2016年度上期 連結業績の概要

連結

(単位：億円)

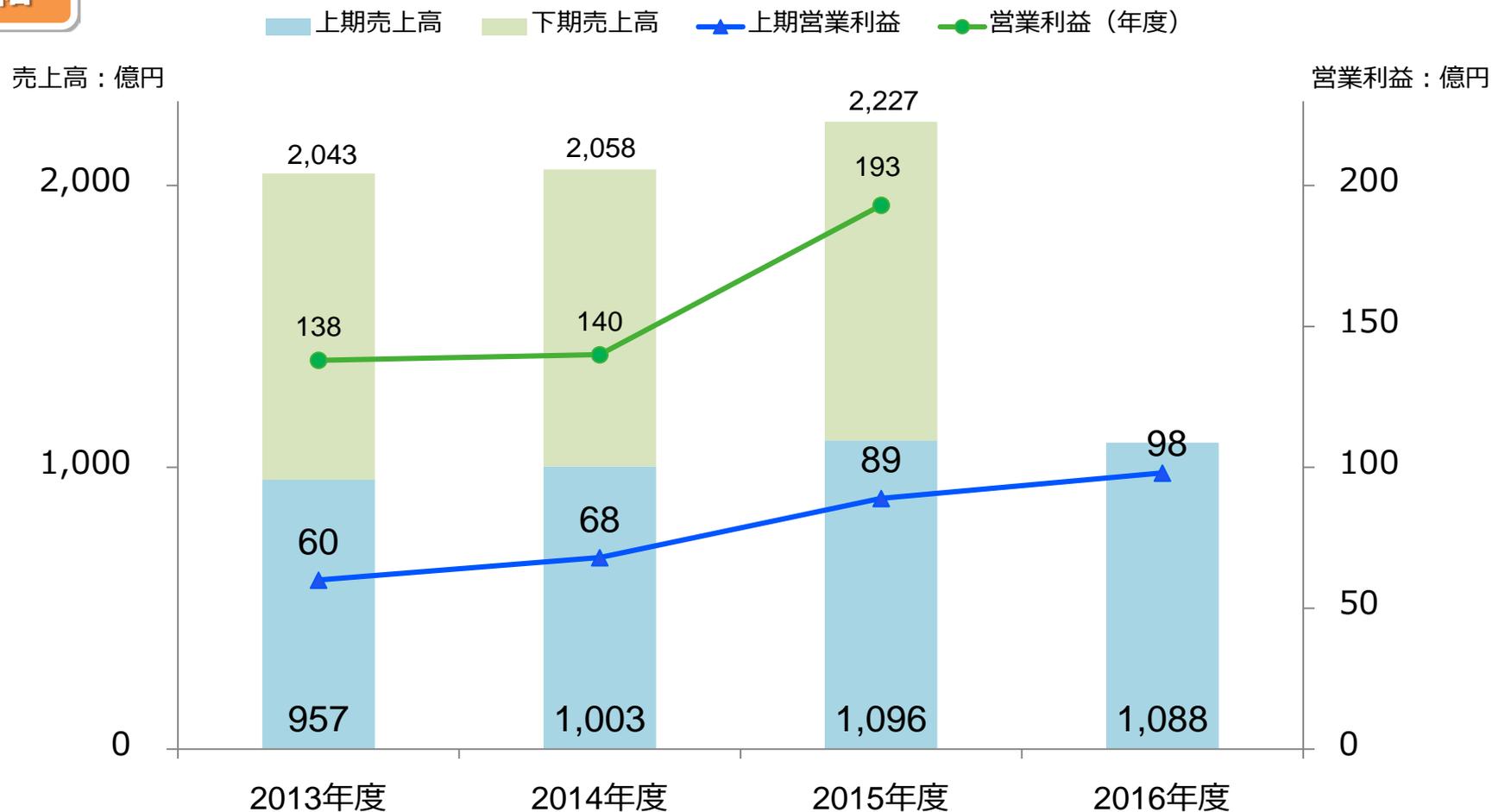
	2015年度上期	2016年度上期	増減	増減率 (%)
売上高	1,096	1,088	△ 8	△ 0.7
営業利益	89	98	8	10.0
経常利益	87	88	1	1.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	58	60	2	3.8
1株当たり 四半期純利益 (円/株)	56.8円	59.0円	2.2円	
配当金 (円/株)	14円	15円	1円	

- 売上高は、海外子会社が現地通貨ベースで増収となったが、為替換算の影響を大きく受けて全体としては減収となった。
高機能製品の販売拡大等により、営業利益、経常利益、四半期純利益は増益となった。
- 2016年度上期から、ADEKA USA CORP. (米国) と株式会社クラウンを新規連結した。

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

連結業績推移

連結



注1) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2016年度上期 連結業績(セグメント別数値)

(単位：億円)

連結

	2015年度上期	2016年度上期	増減	増減率(%)
売上高	1,096	1,088	△ 8	△ 0.7%
化学品	768	732	△ 36	△ 4.7%
情報・電子化学品	103	97	△ 5	△ 5.7%
機能化学品	570	550	△ 20	△ 3.6%
基礎化学品	94	84	△ 10	△ 10.8%
食品	294	316	21	7.4%
その他	33	40	6	19.9%
営業利益	89	98	8	10.0%
化学品	81	87	5	6.9%
情報・電子化学品	22	13	△ 8	△ 39.2%
機能化学品	49	58	8	16.9%
基礎化学品	9	15	5	59.4%
食品	5	9	3	74.9%
その他	2	1	△ 0	△ 25.9%

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

セグメント情報 / 化学品事業 (情報・電子化学品)

連結

情報・電子化学品 (減収・減益)

1. 光硬化樹脂や光重合開始剤は、光学フィルムやフォトレジスト向けの販売が国内外で堅調に推移した。
2. 半導体材料は、NANDメモリの3D化に使われる製品の販売が堅調に推移したが、DRAMの微細化プロセスに対応した高誘電材料がパソコン、スマートフォンなど最終製品の市況悪化の影響を受けた。
3. 回路材料は、リードフレーム向けのエッチング薬剤が国内で堅調に推移したが、海外市場での生産調整の影響を受け、総じて低調に推移した。

(単位：億円)

	2015年度上期	2016年度上期	増減
売上高	103	97	△ 5
営業利益	22	13	△ 8

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

セグメント情報 / 化学品事業(機能化学品)

連結

機能化学品 (減収・増益)

1. 樹脂添加剤は、自動車、住宅関連の回復により、造核剤、透明化剤などの高機能添加剤や塩ビ向け安定剤が国内外ともに堅調に推移したが、円高による為替の影響を受けた。
2. 界面活性剤は、化粧品向けのグリコール系保湿剤や塗料・接着剤向けの反応性乳化剤が海外を中心に堅調に推移した。
3. 潤滑油添加剤は、自動車エンジンオイル向けの添加剤が国内外で好調に推移した。
4. 機能性樹脂は、水系ウレタンや自動車向けの高機能な特殊エポキシ樹脂の販売が海外を中心に伸長した。

(単位：億円)

	2015年度上期	2016年度上期	増減
売上高	570	550	△ 20
営業利益	49	58	8

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

セグメント情報 / 化学品事業(基礎化学品)

連結

基礎化学品 (減収・増益)

1. プロピレングリコール類は、トイレタリー等の日用品用途の需要が堅調に推移した。
2. 過酸化水素は、生産・物流効率などのコスト削減に継続して取り組んだことに加え、同誘導品がトイレタリー等の日用品用途で需要が拡大したことにより、堅調に推移した。

(単位：億円)

	2015年度上期	2016年度上期	増減
売上高	94	84	△ 10
営業利益	9	15	5

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

セグメント情報 / 食品事業

連結

食品（増収・増益）

1. 国内では、製パン、製菓、洋菓子向けにマーガリン、ショートニング類の販売が好調に推移した。
2. 海外では、販売・開発体制の強化と現地ニーズにあった製品の開発などにより、中国、東南アジアでの市場が拡大し、販売が伸長した。

（単位：億円）

	2015年度上期	2016年度上期	増減
売上高	294	316	21
営業利益	5	9	3

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2. 2016年度上期 トピックス

海外展開の加速①

【中国】

- 中国事業会社の会社形態を投資性公司に変更
 - 化学製品等の販売会社である「艾迪科（上海）貿易有限公司」の会社形態を投資性公司とし、業務合理化に加え、得られた利益を効率的に再投資することが可能になった。
 - 新社名は「艾迪科（中国）投資有限公司」とした（2016年8月）。
- 「艾迪科精細化工（浙江）有限公司*」の設立（手続中）
 - 中国浙江省嘉興市平湖市に新たな製造拠点を設立することを計画し、
浙江独山港経済開発区管理委員会と投資協議書を締結した（2016年8月）。
 - 設立予定の「艾迪科精細化工（浙江）有限公司」が建設する新工場では樹脂添加剤等を製造し、生産能力は20,000トン/年（予定）。

* 艾迪科（中国）投資有限公司 100%出資の子会社



海外展開の加速②

【ベトナム】

➤ 「ホーチミン市駐在員事務所」を開所

- グローバルビジネスの更なる拡充・強化のため、ベトナムのホーチミン市に駐在員事務所を設立し、2016年10月1日から業務を開始した。
- 業務内容は、化学品・食品の市場調査等。

人口	約9,340万人
政体	社会主義共和国
GDP	約1,988億米ドル
GDP／1人	約2,171米ドル
経済成長率	6.68%
物価上昇率	0.63%

注1) 数値は2015年時点。外務省HPより引用



設備投資

〈進行中の海外投資〉

➤ 樹脂添加剤事業

- 米国のAMFINE CHEMICAL CORPORATIONで高機能添加剤の生産設備増強を実行中。
- フランスのADEKA PALMAROLE SASでワンパック顆粒添加剤の生産設備増強を実行中。

➤ 情報・電子事業

- 韓国のADEKA KOREA CORPORATIONで高誘電材料の生産設備を新設中。

完工時期

いずれも2017年1月完工予定



▲ AMFINE CHEMICAL CORP.



▲ ADEKA PALMAROLE SAS



▲ ADEKA KOREA CORP.

国内基盤の強化

▶ 株式会社クラウンの株式を追加取得し、連結子会社化

- 同社は、製パン・製菓・洋菓子向けに油脂類などの食品材料を総合的に販売し、取扱商品の豊富さときめ細かい顧客対応を強みとしている。
また、会社設立以来、当社の関西地区特約店として、加工油脂やホイップクリームなどの加工食品を販売している。
- 関西圏のリテール市場に強固な営業基盤を有する同社を子会社化し、国内基盤の強化を進める。

名称	株式会社クラウン
所在地	大阪府大阪市北区西天満3丁目6番35号
事業内容	油脂類、製粉、香料など食品材料及び加工食品などの卸売業
資本金	1,000万円
設立年月日	1962年5月1日

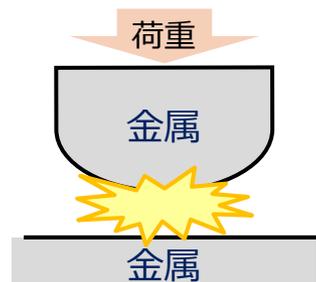
新製品の開発(機能化学品)

➤ SAPSフリー極圧剤の開発

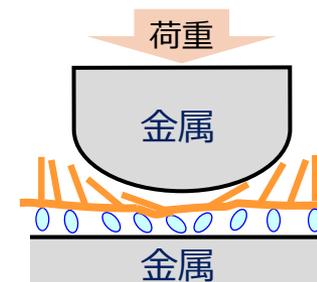
極圧剤とは

極圧剤はエンジン内部の摩擦や焼付けを防ぐ目的で広く使用されている潤滑油添加剤の一種。

一般的な極圧剤は摩耗の抑制に有効なSAPS(金属、硫黄、リン)を含むが、SAPSは金属の腐食やスラッジ(沈殿物)の原因となるため、使用量の削減が望まれている。



金属同士が接触し、
摩耗や焼付きの原因となる。



極圧剤(吸着性ポリマー)が
金属表面に吸着し、損傷を防ぐ。

- 湘南工科大学 村木教授、東京都立産業技術研究センター 中村博士との共同研究により、SAPSフリーの極圧剤を開発した。
- 従来の金属や硫黄、リンを添加した極圧剤を上回る性能を確認しており、ギア油やエンジン油のほか、機械油やグリースなど幅広い用途向けに展開し、2018年度までの実用化を目指す。
- 2015年度 日本トライボロジー学会 技術賞を受賞した。

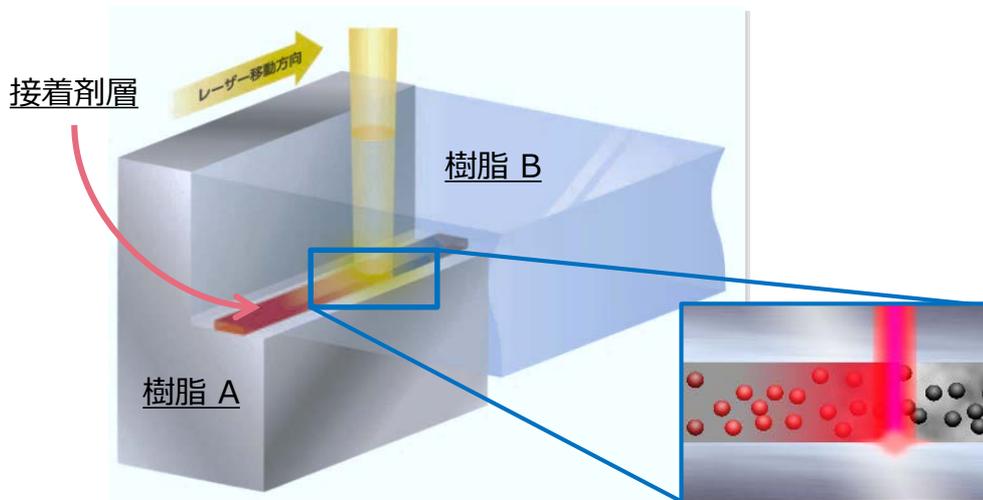
新製品の開発(機能化学品)

➤ レーザー硬化接着システムの開発

(株式会社デンソー様との共同開発、
2016年 株式会社デンソー様 技術開発賞を受賞)

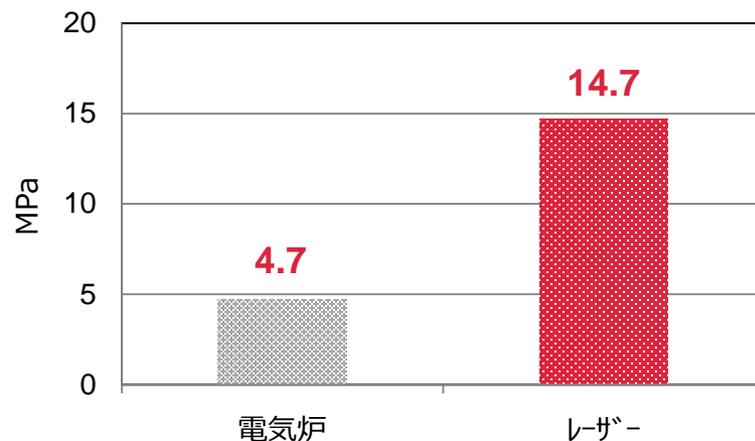
- 近赤外レーザー照射で高速に硬化するエポキシ樹脂接着システムを開発した。
- 電気炉を用いる従来の接着方法と比較して、時間短縮、消費電力やコストの大幅な削減が可能。また、局所加熱ができるため、内蔵部品などへの熱によるダメージが少ないことが特徴。
- 自動車の高機能化や軽量化、精密電子機器製造の工程短縮などに貢献する。

【模式図】



接着剤層に近赤外レーザー光を照射し、局所加熱すると、瞬時に光熱交換材料が発熱して接着剤が硬化する。

【剪断接着力試験】



電気炉で加熱接着した場合と比べて、約3倍の接着強度を示した。
※ポリフェニレンサルファイド樹脂使用。

3. 2016年度 連結業績予想と事業施策

2016年度 連結業績予想の修正

➤ 通期業績予想の修正

- 2016年度上期の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2016年5月12日に公表した業績予想を上回ったが、第3四半期以降の為替の動向、需要動向等をもとに、通期業績予想を下方修正した。
- 修正の前提となる為替レートは、前回予想からUSドルを12円、ユーロを10円それぞれ円高に見直し、「1 USドル=103円、1ユーロ=115円」と想定した。

(単位：億円)

【2016年度連結業績予想】	前回発表予想	今回修正予想	差異
売上高	2,310	2,215	△ 95
営業利益	194	185	△ 9
経常利益	198	181	△ 17
親会社株主に帰属する 当期純利益	135	123	△ 12

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

配当予想の修正

➤ 配当予想の修正

- 創立100周年を記念し、2017年3月期の期末配当金を、前回予想の普通配当15円に記念配当5円を加えた20円に修正。
1株当たり年間配当金は、中間配当金15円とあわせて35円。
(2017年6月開催予定の第155回定時株主総会に付議予定)

	前回発表予想	今回修正予想	当期実績	増減
中間配当金	15円	—	15円	0円
期末配当金	15円	20円 (記念配当5円を含む)	—	5円
年間配当金	30円	35円 (記念配当5円を含む)	—	5円

2016年度 連結業績予想

連結

(単位：億円)

	2016年度			前年度実績	増減	増減率 (%)
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)			
売上高	1,088	1,126	2,215	2,227	△ 12	△ 0.6
営業利益	98	86	185	193	△ 8	△ 4.1
経常利益	88	92	181	195	△ 14	△ 7.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	60	62	123	132	△ 9	△ 7.2

1株当たり純利益 (円/株)	59.0円	60.2円	119.1円	128.4円	△ 9.2円
配当金 (円 / 株)	15円	20円	35円	30円	5円

		2016年度前提	
		期初	下期
為替	円/\$	115.00	103.00
	円/€	125.00	115.00
ナフサ	円/KL	40,000	35,000

2015年度実績	
	119.14
	131.08
	42,800

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2016年度 連結業績予想(セグメント別)

(単位：億円)

連結

	上期実績 (a)	下期予想 (b)	通期予想 (a)+(b)	前年度実績 (c)	増減 (a)+(b)-(c)	増減率 (%)
売上高	1,088	1,126	2,215	2,227	△ 12	△ 0.6
化学品	732	747	1,480	1,538	△ 58	△ 3.8
情報・電子化学品	97	112	210	217	△ 7	△ 3.4
機能化学品	550	549	1,100	1,136	△ 36	△ 3.2
基礎化学品	84	85	170	184	△ 14	△ 7.8
食品	316	333	650	611	38	6.3
その他	40	44	85	77	7	9.0
営業利益	98	86	185	193	△ 8	△ 4.1
化学品	87	70	158	171	△ 13	△ 7.8
情報・電子化学品	13	15	29	47	△ 18	△ 39.3
機能化学品	58	45	104	98	5	5.5
基礎化学品	15	9	25	24	0	0.5
食品	9	12	22	16	5	36.0
その他	1	3	5	5	△ 0	△ 9.1

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2016年度 事業施策

情報・電子

- 半導体向け材料は、NANDメモリの3D化に対応した各種成膜材料などの拡販に注力するとともに、DRAMやロジック半導体向けの販売を強化する。
- 光硬化樹脂、光重合開始剤などの感光性材料は、新規顧客の獲得を目指すとともに、コスト競争力のある生産体制を構築する。

機能化学品

- 樹脂添加剤は、造核剤、紫外線吸収剤などの高機能添加剤、難燃剤と汎用の酸化防止剤をグローバルで拡販する。また、高機能光安定剤など、新製品の採用拡大を目指す。
- 潤滑油添加剤は、自動車販売が好調な海外を中心にエンジンオイル向け添加剤の拡販を目指す。化粧品原料は、スキンケア製品に弾力性を付与する透明性が高いゲル化剤を国内及び欧州で拡販するとともに、海外を中心に新規グリコールの採用拡大を目指す。
- 機能性樹脂は、塗料向けの水系樹脂、電子機器向けの電材樹脂などの販売を強化する。

基礎化学品

- プロピレングリコール類は、化粧品向けなどで高機能品の拡販と市場開拓を推進する。
- 過酸化製品はコストダウンを継続するとともに、誘導品の販売拡大に注力する。

食品

- 国内は、戦略製品の拡販に注力し、製パン・製菓・洋菓子市場でのさらなるシェア拡大を目指す。一方で、品種統合などコスト削減を推進する。
- 海外は、販売・開発体制を強化し、中国、東南アジアでの拡販と市場開拓を促進する。

4. ご参考

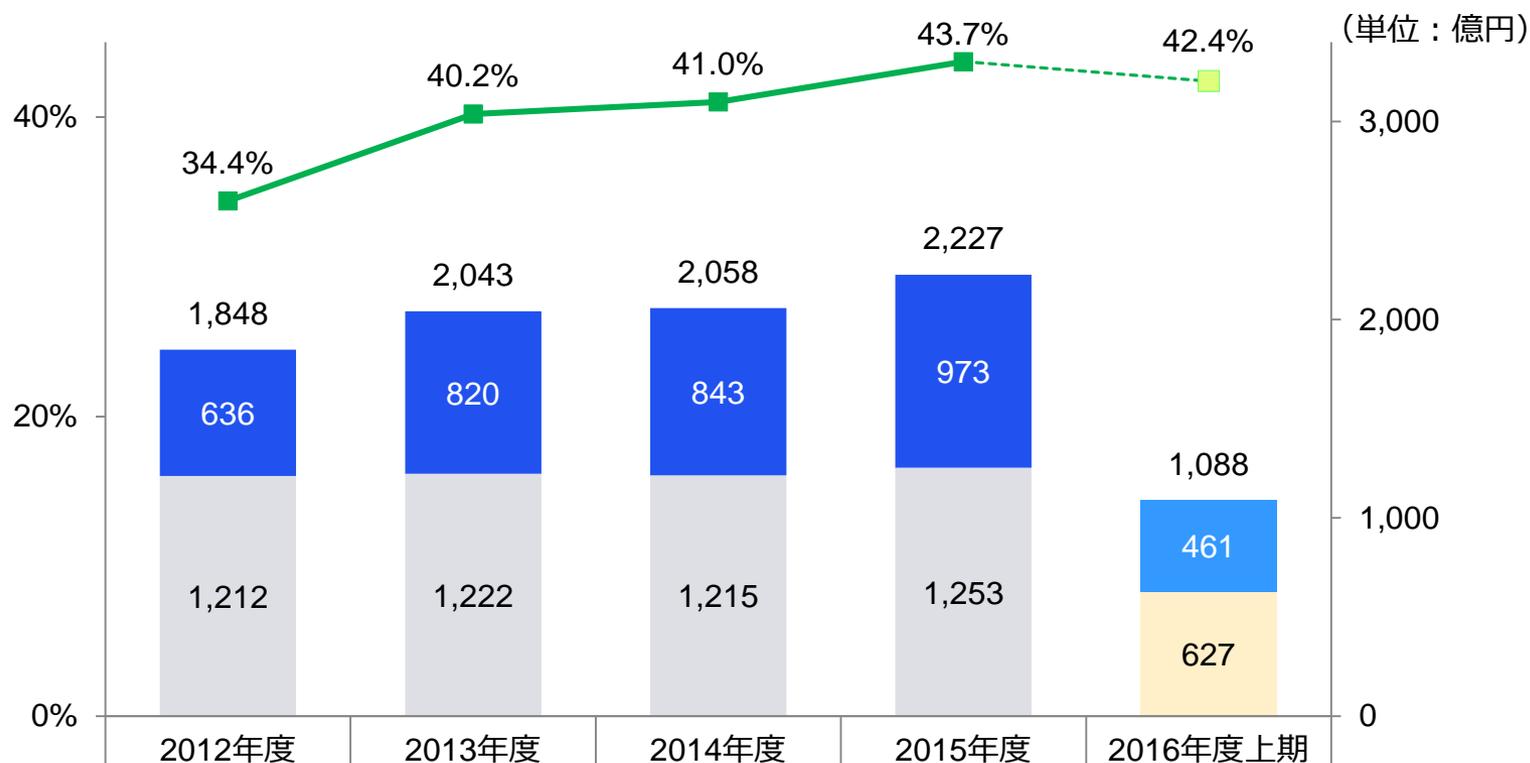
2016年標語(ご参考)

**100年の
技術と信頼**

加速させよう

STEP 3000-II

海外売上高(ご参考)



■ 海外売上高	636	820	843	973	461
■ 国内売上高	1,212	1,222	1,215	1,253	627
■ 海外売上高比率	34.4%	40.2%	41.0%	43.7%	42.4%
売上高	1,848	2,043	2,058	2,227	1,088

注1) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2016年度 第2四半期決算説明補足資料

- I. 連結決算補足資料
- II. 経営指標等
- III. ご参考
 - 単独・連結子会社の決算概要
 - ADEKAグループ概要（連結子会社・持分法適用会社）
 - 事業区分別主力製品

取締役常務執行役員 富安 治彦

I-1. 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2016.3.31現在)	当第2四半期末 (2016.9.30現在)	前期末比 増減
資産の部			
流動資産 ①	145,076	143,107	△ 1,969
固定資産	124,962	123,791	△ 1,170
有形固定資産 ②	78,529	76,723	△ 1,805
無形固定資産	3,818	3,738	△ 80
投資その他の資産 ③	42,613	43,328	715
資産合計	270,038	266,898	△ 3,140
負債の部			
流動負債 ④	65,991	59,940	△ 6,050
固定負債 ⑤	33,461	35,513	2,052
負債合計	99,452	95,454	△ 3,998
純資産の部			
株主資本	153,363	157,980	4,617
資本金	22,899	22,899	-
資本剰余金	19,926	19,926	-
利益剰余金	110,764	115,440	4,675
自己株式	△ 227	△ 285	△ 58
その他の包括利益累計額	9,945	6,645	△ 3,299
その他有価証券評価差額金	4,490	4,951	460
土地再評価差額金	4,276	4,276	-
為替換算調整勘定	4,082	159	△ 3,923
退職給付に関する調整累計額	△ 2,904	△ 2,741	162
非支配株主持分	7,276	6,817	△ 459
純資産合計	170,586	171,444	857
負債及び純資産合計	270,038	266,898	△ 3,140

POINT①

流動資産の減少

現金及び預金の減少 △ 2,278百万円

POINT②

有形固定資産の減少

建物及び構築物の減少 △ 734百万円

機械装置及び運搬具簿価の減少 △ 303百万円

POINT③

投資その他の資産の増加

投資有価証券の増加 566百万円

POINT④

流動負債の減少

支払手形及び買掛金の減少 △ 2,603百万円

短期借入金の減少 △ 1,581百万円

POINT⑤

固定負債の増加

長期借入金の増加 1,715百万円

注1) 金額は百万円未満を切り捨てて表示 注2) 有形固定資産の減価償却累計額 159,199百万円

I-2. キャッシュフロー計算書(要約)

連結

(単位：百万円)

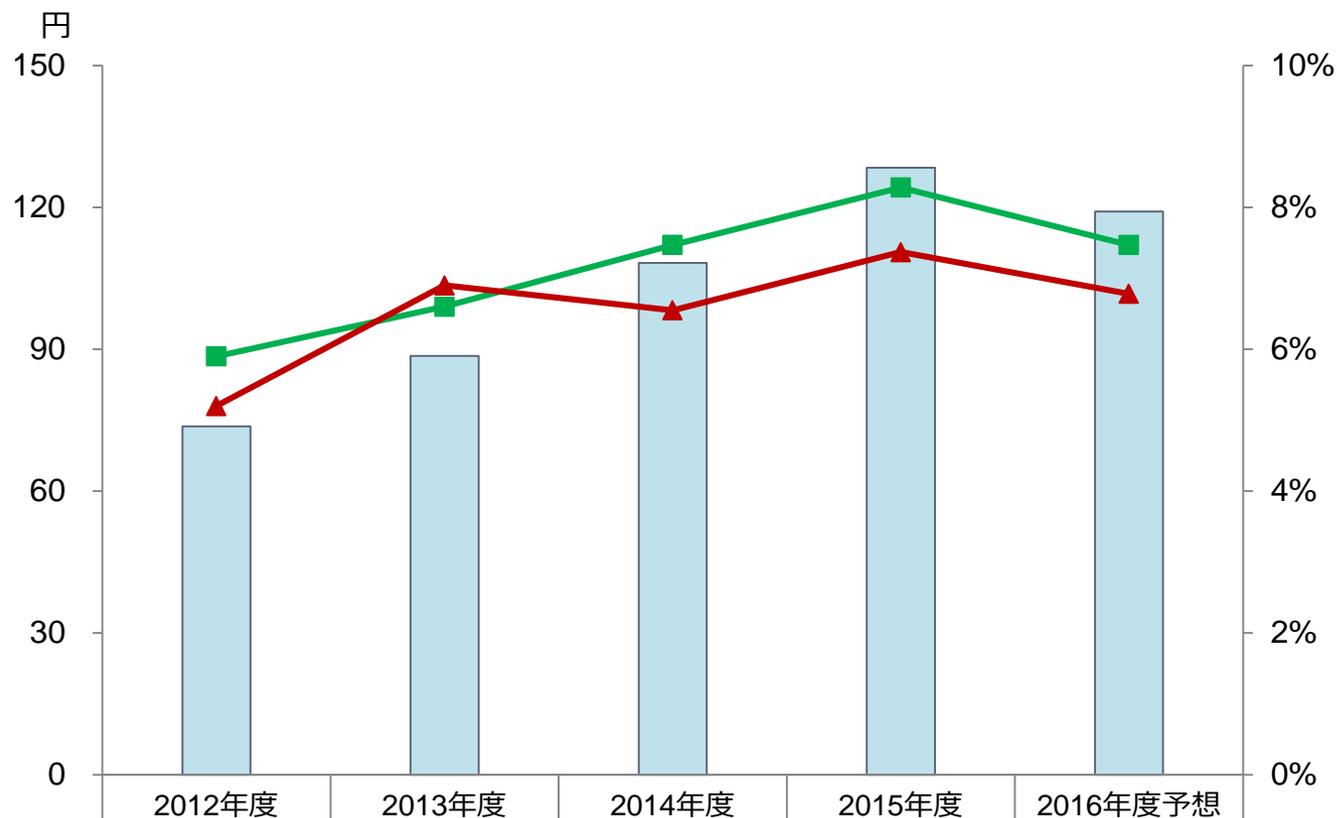
	前第2四半期連結累計年度 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結累計年度 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,688	9,295
投資活動によるキャッシュ・フロー ①	△ 5,403	△ 8,539
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,792	△ 2,597
現金及び現金同等物に係る換算差額	222	△ 2,630
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	715	△ 4,471
現金及び現金同等物の期首残高	41,697	49,981
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	577	89
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,990	45,599

POINT① 投資活動によるキャッシュ・フローの支出増は、有価証券の取得による支出が有価証券の売却による収入を上回ったことが主な要因である。

注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示

Ⅱ-1. 収益性

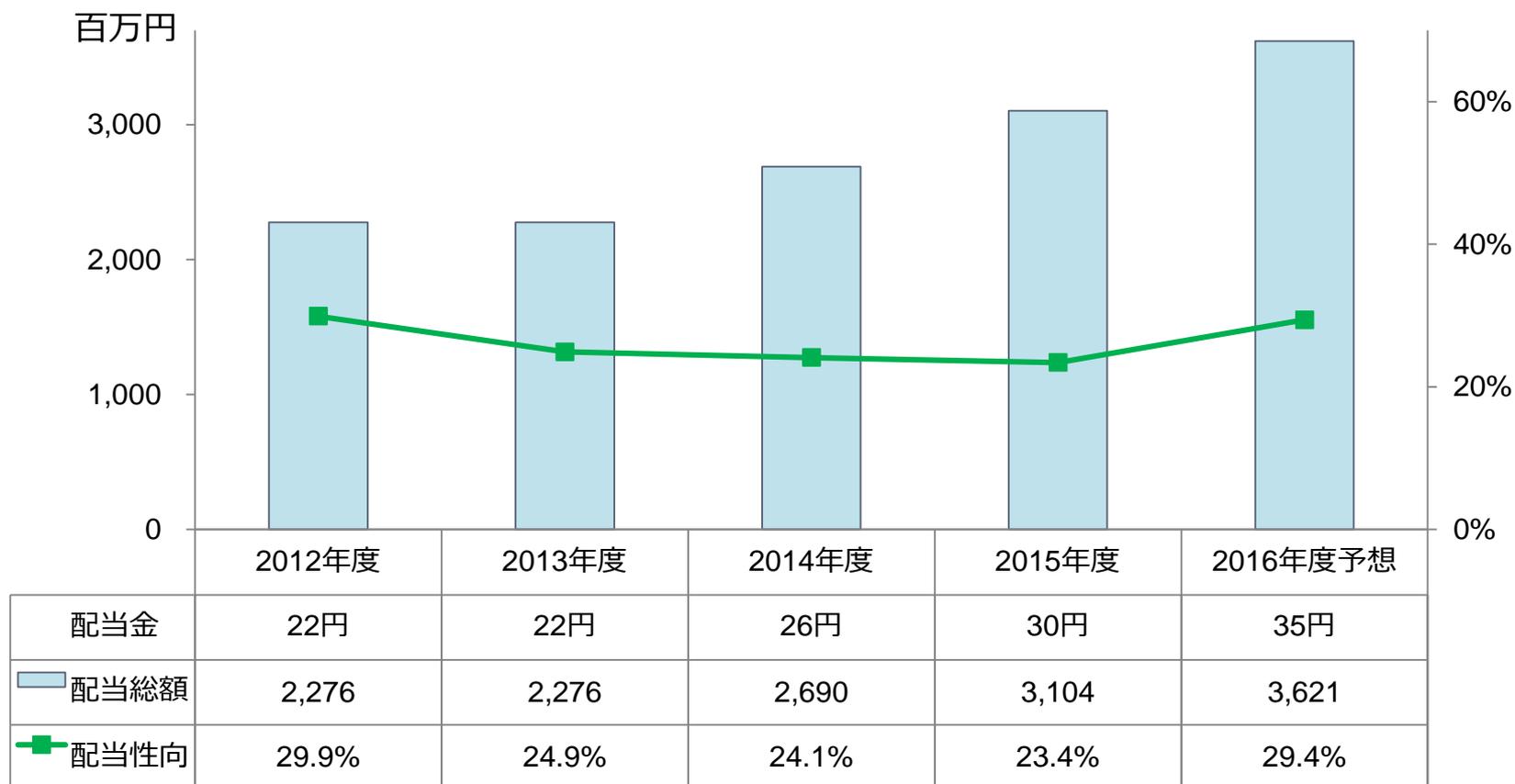
連結



注) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

Ⅱ-2. 配当金、配当性向

連結

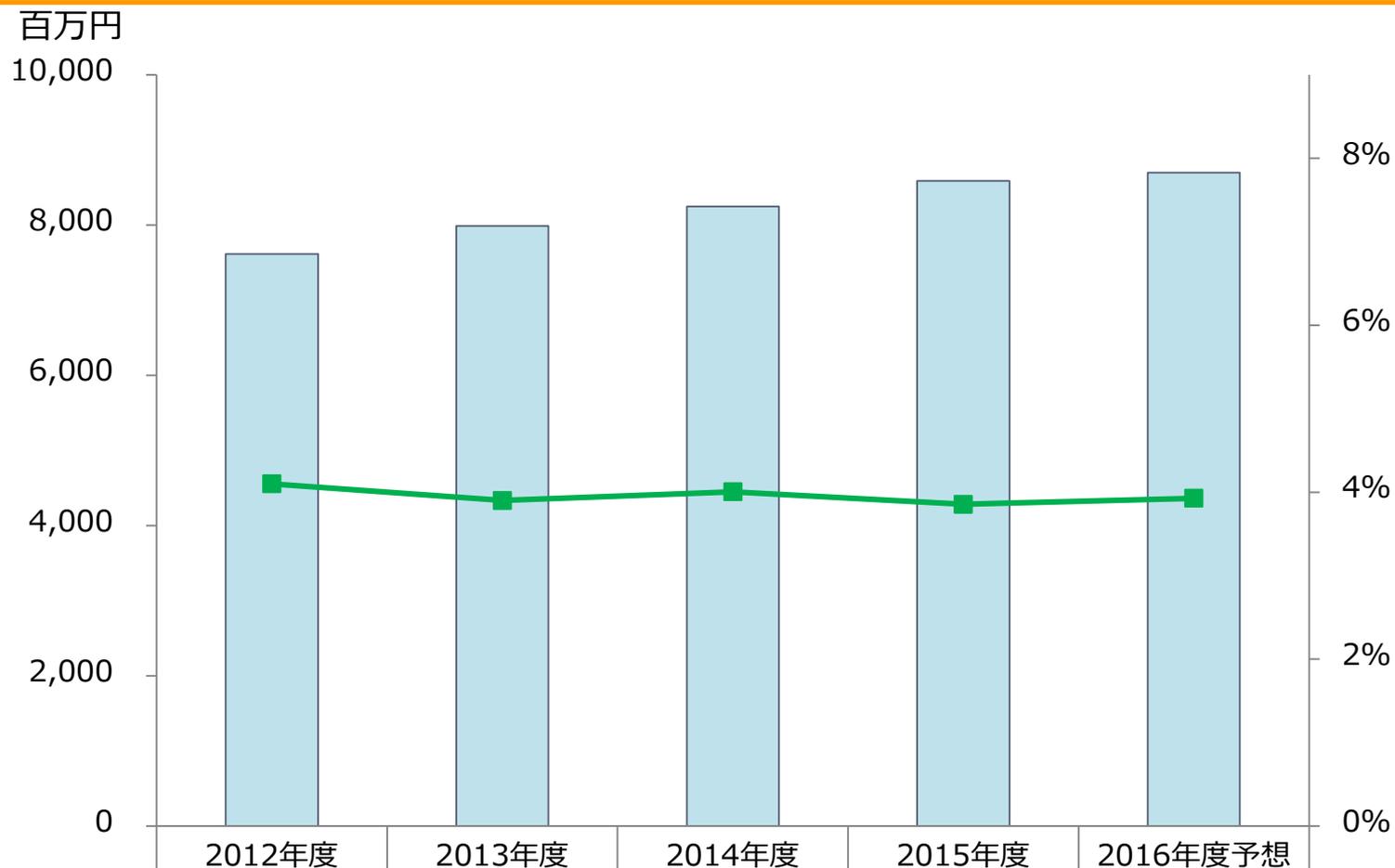


注1) 2016年度予想の配当金には、創立100周年記念配当金5円を含む

注2) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注3) 配当総額は百万円未満を切り捨てて表示

Ⅱ-3. 研究開発費

連結



■ 研究開発費	7,614	7,988	8,247	8,588	8,700
■ 売上高研究開発費比率	4.1%	3.9%	4.0%	3.9%	3.9%

注) 研究開発費は百万円未満を切り捨てて表示

Ⅱ-4. 設備投資

連結

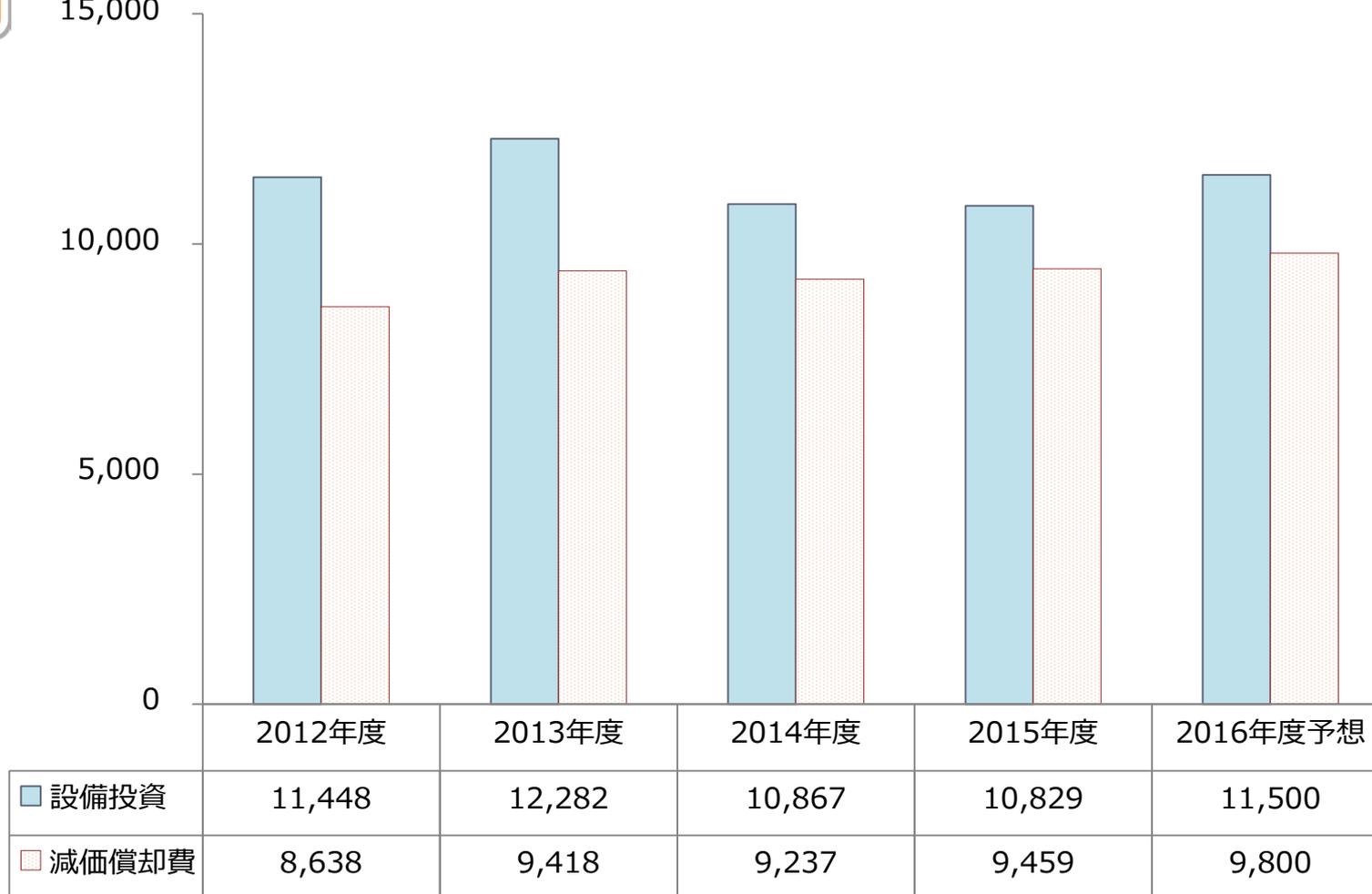
百万円
15,000

15,000

10,000

5,000

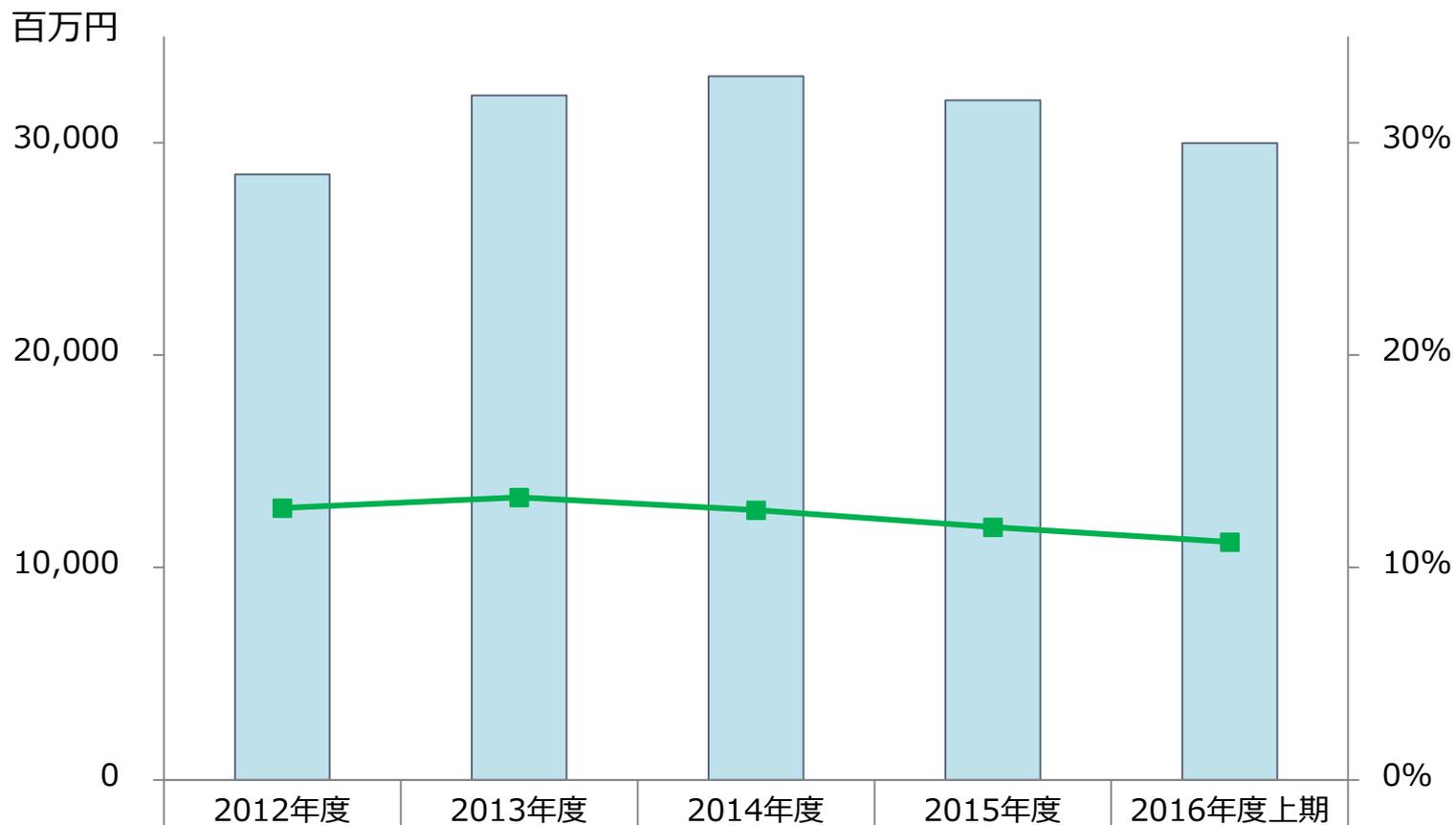
0



注) 設備投資、減価償却費は百万円未満を切り捨てて表示

II-5. 有利子負債

連結



有利子負債

28,513

32,222

33,123

32,003

29,984

有利子負債依存度

12.8%

13.3%

12.7%

11.9%

11.2%

注) 有利子負債は百万円未満を切り捨てて表示

Ⅲ-1. 単独・連結子会社の決算概要(2016年度上期)

(単位：億円)

単独決算				
	2015年度 上期	2016年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	610	607	△3	△0.6%
営業利益	55	57	2	3.6%
経常利益	56	52	△3	△6.8%
四半期 純利益	41	38	△2	△6.7%
1株当たり 純利益	40.3	37.6		

国内(11社)注1				
	2015年度 上期	2016年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	374	383	9	2.5%
営業利益	5	7	1	29.1%

海外(16社)注2				
	2015年度 上期	2016年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	598	582	△16	△2.7%
営業利益	33	36	3	10.8%

連結調整(消去他)		
	2015年度 上期	2016年度 上期
売上高	△486	△484
営業利益	△4	△2

注1) 2016年度から(株)クラウンを連結の範囲に追加

注2) 2016年度から米国のADEKA USA CORP.を連結の範囲に追加

注3) 金額は億円未満を切り捨てて表示

Ⅲ-2. 連結子会社概要(国内11社)

セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
化学品	ADEKAケミカルサプライ(株)	104百万円	98.04 (間接所有3.61)	化学製品の販売、金属加工油等の開発、製造、販売
化学品	ADEKAクリーンエイド(株)	140百万円	100.00	業務用厨房用洗剤、工業用洗剤等の開発、販売
化学品	オキシラン化学(株)	600百万円	51.00	エポキシ系可塑剤等の製造販売
食品	ADEKA食品販売(株)	42百万円	100.00	製菓・製パン用食用加工油脂、その他食品原料等の販売
食品	(株)ヨンゴー	18百万円	92.14	製菓・製パン業務用資材の卸売
食品	ADEKAファインフーズ(株)	50百万円	100.00	マヨネーズ類、油脂加工食品類、魚介類を使用した加工製品の製造販売
食品	上原食品工業(株)	70百万円	100.00	フラワーペースト、餡類及びレトルト調理食品の製造販売
食品	(株)クラウン	10百万円	51.00	油脂類、製粉、香料など食品材料及び加工食品などの卸売
その他	ADEKA物流(株)	50百万円	100.00	当社物流の総元請、倉庫業、車輛等のリース
その他	ADEKA総合設備(株)	130百万円	100.00	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス
その他	ADEKAライフクリエイト(株)	65百万円	90.00 (間接所有10.00)	不動産の売買、仲介、管理、損保・生保代理業、OA機器職域販売、ビル・社宅等の管理運営

注) 資本金は百万円未満を切り捨てて表示

III-3. 連結子会社概要 (海外16社)

国名	セグメント	連結子会社	資本金	出資比率 (%)	事業内容
米国	化学品	ADEKA USA CORP.	100万USドル	100.00	化学製品の販売
米国	化学品	AMFINE CHEMICAL CORP.	1,600万USドル	60.00	樹脂添加剤の製造・販売
米国	化学品	AM STABILIZERS CORP.	850万USドル	60.00 (間接所有 60.00)	樹脂添加剤の製造・販売
ドイツ	化学品	ADEKA Europe GmbH	50万ユーロ	100.00	化学製品の販売
フランス	化学品	ADEKA PALMAROLE SAS	300万ユーロ	90.00 (間接所有 90.00)	樹脂添加剤の製造・販売
中国	化学品	艾迪科(中国)投資有限公司	3,100万USドル	100.00	化学製品の販売
中国	化学品	艾迪科精細化工(上海)有限公司	2,050万USドル	100.00	樹脂添加剤、機能性樹脂、 電子材料等の製造・販売
中国	化学品	艾迪科精細化工(常熟)有限公司	2,154万USドル	50.00	樹脂添加剤の製造・販売
中国	食品	艾迪科食品(常熟)有限公司	1,500万USドル	70.00	加工油脂、加工食品の製造・販売
台湾	化学品	長江化学股份有限公司	3,000万NTドル	50.50	樹脂添加剤及び可塑剤等の製造・販売
台湾	化学品	台湾艾迪科精密化学股份有限公司	2億NTドル	100.00	化学製品の製造・販売
韓国	化学品	ADEKA KOREA CORP.	150億ウォン	100.00	化学製品の製造・販売
タイ	化学品	ADEKA FINE CHEMICAL(THAILAND)CO.,LTD.	3億5000万バーツ	81.00	化学製品の製造・販売
シンガポール	化学品	ADEKA (ASIA) PTE.LTD.	80万USドル	100.00	化学製品の販売
シンガポール	食品	ADEKA(SINGAPORE)PTE.LTD.	800万Sドル	90.00	加工油脂、冷凍パイ生地 及び関連食品の製造・販売
マレーシア	食品	ADEKA FOODS(ASIA)SDN.BHD.	45百万RM	60.00	加工油脂の製造・販売

Ⅲ-4. 持分法適用会社概要

持分法適用会社	資本金	出資比率	事業内容
日本農薬(株)	10,939百万円	24.21%	農薬等の製造販売
(株)コープクリーン	80百万円	46.88%	石鹼、洗剤等の開発、販売

※ 持分法適用会社の増減はなし。

注) 資本金は百万円未満を切り捨てて表示

Ⅲ-5. 事業区分別主力製品

事業区分		主要製品	
報告セグメント	化学品事業	情報・電子化学品	高純度半導体材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光材料、記録材料、画像材料、その他
		機能化学品	ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、その他
		基礎化学品	プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、工業用油脂誘導品、水膨張性シール材、その他
	食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ・調理用油脂、ホイップクリーム、濃縮乳タイプクリーム、フィリング類、冷凍パイ生地、マヨネーズ・ドレッシング、機能性食品素材、その他	
その他	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輛等リース、不動産業、保険代理業、その他		

業績予想・事業計画に関する注意事項

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は、今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。